

議会だより



1月9日 出初式(上中消防団の分列行進)



1月10日 成人式 (今年の新成人は191人)

もくじ

議長新年挨拶	P 2
12月定例会	P 3
常任委員会報告	P 4 ~ P 5
議員賛否一覧	P 6
一般質問	P 7 ~ P 9
視察報告	P 10 ~ P 11
議会の動き	P 12



ご挨拶

若狭町議会議長 清水 利一

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には輝かしい平成28年の新春をお迎えになられたこと心よりお慶び申し上げます。

皆様には、日頃より議会運営につきまして格別のご理解とご協力を賜っておりますことに心から感謝し、厚くお礼申し上げます。

昨年は町の合併11年目を期として住民主体のまちづくりを推進する為、住民が各区の特性や課題に応じて将来の展望をまとめることで、住みよい地域を構築することを目的とし、若狭町全91区が取り組み、「第2次集落計画」の策定作業を行い、町とのヒヤリングと全区ごとに計画書を作り、人口ビジョンや総合戦略にも反映させる礎を策定されました。

そして、昨年を顧みますと鯖街道が日本遺産第1号の認定をされ、11月にはパレア開館10周年や社会福祉協議会設

立10周年の節目を迎えると共に、県宮河内川ダムの定礎式が行われ、平成31年度完成に向けて本体工事着工に入っているところ です。

また、若狭瓜割エコビレッジ構想による次世代定住促進の環境配慮型の住宅団地造成が、平成27年度中完了に向けて安全祈願し、着工されているところ です。

今年も私たち議会は、さらなる将来につながるまちづくりを目指し、「住民と共に考え、共に歩み」加えて若狭町が輝きと優しさに出会えるまちとなるよう、議会といたしまして努力してまいり所存であります。

本年も若狭町議会に対しまして、ご理解とご指導、ご支援を賜りますと共に、若狭町の益々の発展と町民の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます新年の挨拶と致します。

12月定例会

開催期間 12月3日(木)～22日(火)

一般会計に1億3,069万8千円を追加補正

本年度総額 **108億5,390万2千円**

道の駅「若狭熊川宿」 をリニューアル



道の駅「若狭熊川宿」

一般会計 主な事業

(千円単位は切り捨て)

事業名	予算額
地域資源活用人材育成施設整備事業(中央公民館耐震工事設計)	1,100万円
地域生活支援事業(障がい者支援、扶助費用を増額)	277万円
新規就農者支援事業(新規に就農する畜産農家に対する支援)	500万円
道の駅「若狭熊川宿」改修事業(にぎわい広場の整備など)	3,500万円
林業施設災害復旧費(海士坂地係の林道若狭幹線の災害復旧工事)	4,370万円



耐震工事設計(中央公民館)



新規就農者支援事業(合同会社 Misomi 牧場)

主な歳入

- ◆地方消費税交付金……………1,395万円
- ◆地方交付税……………256万円
- ◆国庫支出金……………4,781万円
- ◆県支出金……………3,728万円
- ◆町債……………2,890万円

特別会計・企業会計

(千円単位は切り捨て)

特別会計	補正額	合計額
国民健康保険	△2,182万円	21億1,829万円
介護保険	307万円	19億2,812万円
公共下水道事業	△744万円	5億5,265万円
企業会計	補正額	合計額
上中病院事業	3,963万円	8億2,432万円

やすらぎセンター改修および備品購入(通所リハビリ・訪問看護事業を開設し、介護予防の推進と医療費や介護保険料の抑制を図る)



上中病院 やすらぎセンター

常任委員会報告

予算決算常任委員会

去る12月3日、平成27年第6回定例会にて、当委員会に付託されました議案は、一般・特別・企業各会計補正予算の6議案を慎重に審査した結果、全員の賛成で可決すべきものと決定。

○一般会計補正予算

主な質疑事項

問 議会事務局が平成27年度より、1名減となっている。議会が弱体化すると町政の弱体化にもつながる。考えを問う。
答 議長にも要請を受けている。前向きな対応をする。

問 誘導看板設置場所、保坂交差点より国道161号線の分岐点の手前に設置をする方が効果があるのでは。
答 あの箇所に必要であることを県から申し入れがあったという経緯がある。

問 道の駅「熊川宿」の食堂の売り上げと物販の売り上げのバランスはどうか。
答 金額で申し上げると、物販が7割、食堂が3割。

問 マイナンバーカード業務のために、上中庁舎と三万庁舎に1人ずつ人員を配置す



答 るというが、兼務は出来ないのか。この補助金については賃金に充てるのがメインである。

問 将来、上中の各小学校の給食も給食センターで作るのか。

答 センターの処理能力と見合わせ、児童数も減ってくるのが考えられるので、検討していきたい。

○特別会計補正予算

主な質疑事項

問 介護保険給付費が減額されているのは、上中病院の介護療養病床の患者を移動させているからなのか。
答 影響しているが、減額の詳細な原因は未検討である。

問 今後の若狭町の人口推移を検討している部署はあるのか。
答 政策ヒヤリングを行っている。また、母子手帳の発行で大体のデータが分かる。

問 平成27年の新生児は、100人を切るのではないかと危惧している。
答 ○企業会計補正予算

主な質疑事項

問 既に、社協がパレアでディスプレイを行っている。上中病院やすらぎセンターを改修して行う事業については、どのような

答 実施の仕方、考え方をしているのか。介護保険制度改正により要介護3以上の方しか施設入所が出来なくなったので、要介護1・2の方、要支援1・2の方を対象としたリハビリを行い、回復させて自宅に帰っていただく施設が嶺南にあまりない。通所してもらいながら機能回復を行ってもらおう。自宅で自立した生活が出来るようにリハビリ専門スタッフがりハビリを行う。訪問看護ステーションから看護師だけでなく、訪問リハビリのスタッフを常駐させ家庭でもリハビリを行う。

総務産業建設常任委員会

付託議案は条例の制定1件、条例の一部改正2件、指定管理者の指定について11件、町道路線の認定1件は、いずれも全員一致で可決すべきものと決定。その後、請願1件を審査し、全員一致で採択すべきものと決定。

○個人番号の利用に関する条例の制定について
マイナンバー法に基づき地方公共団体の内部で、税や社会保障の分野で個人番号の利用が開始されることに伴い、利用可能な事務を限定することを条例で定めるもの。

○マイナンバー法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

マイナンバー法の施行に伴い、住民基本台帳カードの利用に関する条例の廃止と、それに伴う印鑑条例の一部改正や介護保険条例の一部改正では、保険料の徴収猶予及び減免の申請書に添付する書類を不要とするもの。

主な質疑事項

問 住基カードに印鑑登録機能が入っていたが、個人番号カードでも同じように使用できるのか。
答 住基カードに印鑑登録してあるものは、有効期限までは使える。個人番号カードに変えた場合、印鑑登録カードに移行する。個人番号カードに印鑑証明の機能はつかないのか。

答 現在のところ考えていない。

○若狭町税条例等の一部改正について

町税等の徴収猶予にかかる納付方法や申請手続きに必要な書類や担保に関する規定の整備をするもの。

主な質疑事項

問 猶予をするということは、滞納ではないのに、なぜ担保が必要なのか。
答 猶予するのであって、納税義務がなくなるわけではなく、猶予することについて担保を求めるところにある。

○指定管理者の指定について

「若狭町えびす荘の指定管理者の指定について」は、安賀里の若狭町えびす荘の指定管理者として有限会社社彩石を指定すること。

主な質疑事項

問 管理料が半額になったと聞いたが。
答 建物が老朽化しており、耐用年数も残り少なく、考慮の上、半額の60万円にした。今後改修費がかさむが、廃棄する等々を今後検討していかなければならないと思うが。

答 今後の改修は難しいと考える。2年くらいで検討していきたい。

※以下の議案については特筆すべき質疑はありませんでした。

・「若狭町コミュニティセンターの指定管理者の指定について」は、田上区の田上「コミュニティセンター」、三方区の健康増進施設ふるさと会館、朝霧区の朝霧あじさい会館、若葉区の若葉ふれあい会館、河内区のごいの家明神荘、せせらぎ区の鯖街道伝承館の指定管理者にそれぞれの集落の区長を指定すること。

・「縄文の里交流センターの指定管理者の指定について」は、鳥浜にある縄文の里交流センターの指定管理者として、鳥浜区長を指定すること。

・「伊良積休憩所の指定管理者の指定について」は、成出にある伊良積休憩所の指定管理者として、伊良積区長を指定すること。

・「若狭町自然休養村経営管理所の指定管理者の指定について」は、若屋区の若屋経営管理所、向笠区の向笠経営管理所、田井野区の田井野経営管理所、海山区の海山経営管理所、の指定管理者にそれぞれの集落の区長を指定すること。

・「若狭町勤労福祉会館の指定管理者の指定について」は、市場にある若狭町勤労福祉会館の指定管理者として、わかさ東商工会を指定すること。

・「若狭町新規就農支援施設の指定管理者の指定について」は、兼田にある若狭町新規就農支援施設の指定管理者として、特定非

営利法人若狭物産協会を指定すること。

・「体験学習臨海休養施設の指定管理者の指定について」は、小川にある体験学習臨海休養施設の指定管理者として、小川養殖漁業生産組合を指定すること。

・「世久見うみへの家の指定管理者の指定について」は、世久見にある世久見うみへの家の指定管理者として、世久見区長を指定すること。

・「小川休憩所の指定管理者の指定について」は、小川にある小川休憩所の指定管理者として、小川観光組合を指定すること。

・「若狭町漁業体験施設の指定管理者の指定について」は、鳥浜にある若狭町漁業体験施設の指定管理者として、鳥浜漁業協同組合を指定すること。

指定管理者の指定について総括した質問では、

問 集落センターとして使用されている施設等の払い下げの時期についてどう考えているのか。

答 基本的に耐用年数が経った施設は、払い下げをしていく。

○（請願）高浜原発3・4号機の安全対策と避難計画に関する町民説明会を求める請願

主な意見として

・高浜町長の再稼働同意があった中で、住民説明会は必要だと思つ。
・議会は住民本位の立場であるので住民の声を聴く必要がある。

・パンフレットが全戸配布されるのに伴い、住民意識も高まるので、意見を聞く場も必要。
・再稼働に反対や賛成の意見を聞く場を設けるのではないので、町長は、準立地の会長でもあるので慎重であるが、避難計画を説明したほうが良い。

教育厚生常任委員会

本委員会への付託議案は、条例の制定が1件、施設指定管理者の指定が4件、明倫保育所関係の財産処分が1件で、12月11日の教育厚生常任委員会で審査した結果、いずれも全委員賛成で可決すべきものと決定。

主な質疑事項

○若狭町環境保全型産業学習施設条例の制定について

問 地域産業の担い手の育成、学校教育の充実という目的のもと、実現のために担当者配置するのか。

答 この施設は、三十三公民館という性質もあるが、人材育成という面でも積極的に活用していきたい。

問 この事業にはもんじゅの交付金を使っているが、今現在、廃炉や組織編成などの問題が取りざたされており、補助金を使った事による若狭町の立場への影響は。

答 この交付金は、それまで対象外であった準立地へのもんじゅ交付金を他の準立地と力を合わせ、交付金獲得の運動を展開し実現したものであるが、この交付金は制度に則りながら交付されたものであり、もんじゅ事業の推進とは別の話である。

○若狭町地域福祉センター及び若狭町介護予

防拠点施設の指定管理者の指定について

問 居宅介護等で他県の業者も利用されているようだが。

答 居宅介護については町内事業所で全て対応をしなければならぬということではなく、県外であっても利便性の良い事業所を選択できる制度になっている。

○若狭町かみなか農村運動公園センターハウスの指定管理者の指定について

問 指定管理について審議委員会を開催していると思うが、「施設使用受益者負担60万円以上」についてどのような過程であったのか。



答 審議委員会では、それまでの受益者負担は120万円であったが、置かれている現況を理由に60万円以上を提案し決定した。この決定内容を基に公募し、応募者への質疑応対を考慮して管理者を選定した。

問 他の事例からすると、受益者から回収する負担金以上に、町の費用で改修しており、今後も負の財産を引っ張っていくかなければならぬ。そのために、営業に関わる全ての指定管理事業に見直しをかけなければいけない。その結論を出していたく事を希望する。

答 この意見は、理事者としても同じ思いである。施設の土地所有の問題もあるが、委員の皆様が解が頂けるなら進めたい。今後、行政側からこのことに対する議案上程があれば検討していく。

12月定例会

12月22日に採決され 全員賛成で可決された議案

議長は、採決に加わりません。背景は各質疑事項（P4～5）をご参照ください。

- ・若狭町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について
- ・若狭町環境保全型産業学習施設条例の制定について
- ・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
- ・若狭町税条例等の一部改正について
- ・若狭町立保育所条例の一部改正について
- ・平成27年度若狭町一般会計補正予算(第5号)
- ・平成27年度若狭町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ・平成27年度若狭町介護保険特別会計補正予算(第2号)
- ・平成27年度若狭町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ・平成27年度若狭町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ・平成27年度若狭町国民健康保険上中病院事業会計補正予算(第2号)
- ・若狭町コミュニティセンターの指定管理者の指定について
- ・若狭町えびす荘の指定管理者の指定について
- ・縄文の里交流センターの指定管理者の指定について
- ・伊良積休憩所の指定管理者の指定について
- ・若狭町自然休養村経営管理所の指定管理者の指定について
- ・若狭町地域福祉センター及び若狭町介護予防拠点施設指定管理者の指定について
- ・若狭町国民健康保険三方診療所歯科施設の指定管理者の指定について
- ・若狭町勤労福祉会館の指定管理者の指定について
- ・若狭町新規就農支援施設の指定管理者の指定について
- ・体験学習臨海休養施設の指定管理者の指定について
- ・世久見うみべの家の指定管理者の指定について
- ・小川休憩所の指定管理者の指定について
- ・若狭町漁業体験施設の指定管理者の指定について
- ・若狭町かみなか農村運動公園センターハウスの指定管理者の指定について
- ・町道路線の認定について
- ・財産の処分について
- ・高浜原発3・4号機の安全対策と避難計画に関する町民説明会を求める請願(継続審査分)



若狭町議会
議会改革特別委員会

いします。

「議会だより 第44号」で報告させていただくと共に、その後に計画しております「議員と語る会」でのテーマにも活用したいと考えておりますのでよろしくお願

昨年末に各集落区長さんを通じて、区民の方々の中から抽出で「若狭町議会に関する町民アンケート」を実施させていただきました。このアンケートにご協力いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

アンケートの結果につき

ましては、4月発行予定の

「議会だより 第44号」で

報告させていただくと共に、

その後に計画しております

「議員と語る会」でのテーマ

にも活用したいと考えて

おりますのでよろしくお願

アンケート
ご協力のお礼

一般質問

(文責：質問者本人)

若狭と京を結ぶ鯖街道熊川宿 生き活きプロジェクトの進め方について伺う

辻岡 今回、地方創生先行型交付金として、三千五百万円が対象となった若狭と京を結ぶ鯖街道熊川宿 生き活きプロジェクトを、今後の若狭町発展に、どの様に使うのか伺う。

町長 ①「国際シンポジウム」を3月12、13日2日間に行ったり、パレオ若狭と熊川宿を会場に、



辻岡正和 議員

地方創生先行型、交付金タイプP1の若狭と京を結ぶ鯖街道熊川宿 生き活きプロジェクトについて

町長 国際シンポジウム等を行い地方創生事業の推進に努力する

「サバのなれずし」や「へしこ」等の「発酵」食品をテーマとして、世界遺産の「和食」との関係や、イタリアからも関係者を招き行う。②「地元特産品の開発」③「空き家等の地域資源活用計画の策定」の3つをプロジェクトの柱として事業を実施し、地方創生の総合戦略につなげ、次世代定住人口の増大の為に、関西・中京圏からの流れを作るため、今津・上中間の琵琶湖若狭湾快速鉄道の早期実現と、国道303号線の整備促進を含め努力する。

河内川ダムの周辺整備状況について伺う

辻岡 河内川ダムの活用と、その周辺整備状況として若狭森林公園河内の森の、今後の活用をどうするのか伺う。



町長 ダムの活用については、住民の為に水道用水等に安定的に活用し、

工業用水をはじめ治水対策の為に有効に利用し、周辺整備については、河内区をはじめ熊川地区より要望事項が提示されており、現在庁内の関係課でプロジェクトチームを立ち上げ、要望内容について、河内川ダム建設事務所と情報を共有しながら協議を重ねており、これから実施していく。森林公園においては、整備に係る財源確保に努力し、事業主体や管理者について前向きに検討する。

三方湖のヒシの群生について

町長 ヒシの問題解決は大変困難なものである

坂本 三方湖ヒシの群生について、三方湖は二級河川で県の管理下にあるが、町としての考えは。

町長 三方五湖PAからの景観や、周辺への悪臭等の問題があるのも事実。しかし、このヒシの問題解決は大変困難である。

ドラインをもとに県に訴えていく。

坂本 レインボーラインや三方五湖PAから見ても異様な感じ。ヒシが腐り悪臭もする。若狭町観光の玄関口であり、自然を大切にし、しっかりと対応していただきたい。

若狭縄文博物館利用者の現状

坂本 縄文博物館を始めとした、観光施設の今年の入り込み状況は。

観光交流課長 町内全体では125万9千人と

3.9%の増。民宿では前年比2.7%の増で、関東方面からのお客さまが増加傾向である。

坂本 縄文博物館として何か努力をしているのか。

歴史文化課長 企画展や講演会の実施、若狭地区の5施設や、町内の店舗や施設と連携し割引券を発行している。



若狭縄文博物館

三方石観世音の現状は

坂本 三方石観世音の観光PRの活用は。

観光交流課長 パワースポットのひとつとして神秘的な場所として、雑誌に掲載されており、三石観世音と共同で、ライトアップを実施している。11月23日から3日間で1381人の来場者があった。

質問

(文責：質問者本人)



松本孝雄 議員

岬小学校の休校について

松本 来春二月末をもって休校となり、地域住民は一样に寂しく思っている。三十数年間、子ども達の元気な声とともに地域に息づき、西浦三集落の地域活動の拠点としての役割をなしてきたが、休校後は施設をどのように活用するのか。

教育長

子どもの減少による、やむを得ない状況を受け、子ども達の教育環境を考え、来年四月より休校とさせて頂く。

岬小学校休校に伴う施設の活用は

教育長

教育施設や体験学習施設としての活用を検討中

風光明媚な若狭湾に面し、環境の良い施設であり、教育施設や体験学習施設としての活用を検討しており、地元の雇用や産業に結びつくものがあれば最適と考えている。町が直接運営せず、施設は貸し出す形となる。



休校となる岬小学校

若狭さとうみハイウェイの四車線化は

松本

全線開通から一年四ヶ月が経過し、観光客も若干増えているように感じるが、事故による長時間の通行止めに対す

瓜割エコ住宅団地および上瀬住宅団地の販売戦略について



島津秀樹 議員

瓜割エコ住宅団地および上瀬住宅団地の販売戦略について

島津 来春販売が始まる瓜割エコ住宅団地の26区画完売を目指した販売戦略はどうなっているのか。

政策推進課長

分譲フェア、テレビ、新聞等の活用とPR動画を作成し町のHPに掲載し全国発信する。またアンケート調査結果をもとに県内外へ効果的なPRをしていく。

道の駅「三方五湖」の食事処について

松本

今春三月のオープン以来、多くの観光客や地元の方が利用されているが、新鮮な魚介類などが食べられる食事処は設置しないのか。

観光交流課長

食事処開設の要望も多いことから関係機関と協議し、意見を集約して改善策をまとめたいと考えている。

孫ターンへの取組について

島津

子育て世代が移住を考える割合が都会で増加している。次世代定住促進において、祖父母がいる地元で孫世代をターゲットに対策を講じてはどうか。

町長

移住施策を進める上で、ひとつのポイントとなるが、孫世代のみならずあらゆる方々に移住してもらえようPRし、ターンの促進に努めていく。

多世代同居、多世代近居の支援策について

島津

親と同居するための住宅の改造費や親元に土地を分けてもらい家を新築する場合など、多世代の同居や近居に対しての支援策が必要ではないか。それはまた、町の住宅団地の販売促進に

次世代定住促進における、多世代同居、多世代近居への支援策について

町長

28年度から実施できるよう検討する

通じた戦略は近隣市町への販売に関し検討していく。

町長

家族の絆、集落づくりという点で重要な施策と考え、28年度から実施できるように検討する。国、県が実施している制度を利用して検討する。

シングルマザーの移住促進について

島津

シングルマザーの移住促進は、地方にとって有効だと考える。仕事、家事、育児をこなす環境が若狭町には整っていると思う。空き家バンク登録の物件は大きいものが多く、シングルマザーのシェアハウスとして活用し、支援できないか。

町長

人口増、少子化対策には有効だと思うが、仕事の確保と子育て支援が必要。シェアハウスは、メリットもあるがプライバシーの問題などもある。有効な手段が検討する。

一般



犯罪被害者等基本法について

小堀 町の犯罪被害者支援はどうなっているか。

町長 被害者等からの相談窓口を設置して警察と連携した対応を行っている。

小堀 単なる取次ぎでは対応次第で被害者が傷つく二次被害にならないか。

環境安全課長 県が実施する犯罪被害者等支援相談



議員 小堀 信昭

公共施設の老朽化について

町長 現在策定中の公共施設等総合管理計画に基づき検討中

員等研修会や実情等の研修を受けている。

小堀 今後、町として被害者支援の見舞金制度、生活資金を貸し付ける貸付金制度等の条例を定めて被害者支援をする計画は。

町長 県とも連携をとり検討していきたい。

公共施設の老朽化について

小堀 総務省が全国市区町村対象に公共施設の解体・撤去に関する調査を行っている。町は回答したのか。

総務課長 平成27年度に除却する施設は無いと回答している。

小堀 解体、撤去が必

要な物件は。

町長 町が所有する約200施設で現状各施設とも用途があり平成28年度では無い。

小堀 現状では無いとの事だが、全国自治体では解体費用の捻出に苦労している。町も財政が非常に厳しい、現時点で物件は無いが10年先まで見越した上での答弁か。

町長 現在策定中の公共施設等総合管理計画に基づき除却に地方債の充当が認められ特例措置が講じられており長期的視点で施設の適正な配置について検討していく。

北原 本町が策定した『若狭町地域防災計画(原子力災害対策編)』と『原子力災害時における住民避難計画』に関して、行政と町民とで対話する、いわゆる「住民説明会」を行うてはどうか。

そのことで、「防災計画」、「避難計画」への認識が深まる。「計画」が町民にとって、実のあるものになる。

このような説明会を開催することについて、見解を伺う。

町長 原子力防災や避難は、国が、責任をもつて、計画し、説明を行うべきだ。原子力行政は、国が一元的に責任を持つのが基本である。

住民説明会については、原発立地自治体の現状や避難計画の取り組みを現



議員 北原 武道

「原子力防災計画・避難計画の住民説明会」を開催してはどうか

町長 軽々に判断できない

状況分析していきたい。そして検討、判断する。私は準立地自治体の連絡協議会の会長を預かっているのので、準立地自治体の意見を伺う必要、足並みを揃える必要がある。

加えて、時期をみて環安協(原子力発電若狭町環境安全対策協議会)を開催し、原子力防災の研修を行いたい。国、県の担当者による説明を要請する。研修内容については、公開することも考えたい。現状では、住民説明会の開催については、軽々に判断できない。

上中病院の診療所化で専門職員の余剰は発生しないのか

北原 ベッド数が7から19に減るなど、規模が縮小される。看護師など専門職員の余剰は発生しないのか。

町長 診療所だけでなく、通所リハビリテーションや訪問看護ステーションなど、在宅医療・介護の新規事業を行う予定だ。現在検討中であり、職員配置も未定である。

北原 仮に余剰が発生した場合でも、非正規職員の安易な「雇い止め」はしないで、町内や近隣で、経験の生かせる職場を紹介するべきだ。これは、地域全体の医療・介護の水準を保つ上でも必要だ。



視察報告

Inspection report

総務産業建設常任委員会 視察研修

【期 日】平成27年10月15日～16日

【視察箇所】南但クリンセンター（兵庫県

朝来市）、丹波農林振興事務所（兵庫県

丹波市）、道の駅数か所

【出席委員】島津委員長、坂本副委員長、

大塚委員、小堀委員、北原委員、武田委員、

原田委員

【内容と報告】

▼一般廃棄物処理施設

（高効率原燃料処理施設視察）

◆南但クリンセンター（兵庫県朝来市）

南但広域行政組合において、養父市、朝来市の人口57,500人の一般廃棄物処理を扱う高効率原燃料処理施設（バイオマス+焼却）が、平成25年に竣工し、メタンガスを発生させ、そのガスによりエンジンを動かして発電している全国でも注目を集めている施設です。ガス化させることで焼却するゴミの量を削減させる方法として有効であること、またプラント内での排水は全て施設内で再利用することで、施設から出



ることがなく、施設内の臭気は燃焼脱臭することで周辺では臭気を気にすることが、ほとんどありません。

◆丹波栗の産地復活に向けた取り組みについて

◆丹波農林振興事務所（兵庫県丹波市）

兵庫県の丹波農政局が主となり、丹波栗の日本一の産地復活に向けた取り組みを研修しました。

梅育の取組の参考にするために、産業課森下課長、山本室長も同席の上、丹波農業改良普及センター長との意見交換を行いました。

日本の丹波栗の産地復活に向けた取り組みを平成23年から進め、剪定士の育成や新規就農者の育成、栗園の整備、商品開発、販売量の拡大、観光客の誘致など、生産から販売までを組織化し、着実に目標を達成してきています。当町での梅育の取組において参考になるところが大変多かったと思います。



教育厚生常任委員会 視察研修

【期 日】平成27年11月19日～20日

【訪問先】福井県永平寺町、石川県金沢市

【視察箇所】福井メデイカルシミュレーションセンター・シエア金沢・金沢市役所・金沢市教育プラザ此花

【出席委員】今井委員長、渡辺副委員長、

辻岡委員、小林委員、松本委員、清水議長

【内容と報告】

◆福井メデイカルシミュレーションセンター

福井大学医学部付属病院に属する当センターは、医療従事者の技術向上や臨床研修の充実、県内医療従事者の確保、また緊急被ばく医療のシミュレーション研修などを目的として開設された全国有数の施設です。

ただ、県内関係者の施設利用度合いは約2割で、しかも嶺南関係者の利用は過去1例のみでした。

若狭町内にある病院の医師や医療従事者を増やしたり用しやすくするために、当センターの活用を大いに提唱すべきであると感じました。

◆シエア金沢

ここは、高齢者向け住宅や学生向け住宅、レストラン、日常生活雑貨販売店、児童発達支援センター、スポーツ



施設などを備え、学生などの手を借りて、お互いに支えあいながら高齢者の支援や子育てができる一つの街です。私たちの町にも、このように地域コミュニティが許される時を待ち続けていたいという思いが湧きました。

◆金沢市役所、金沢市教育プラザ此花

私たちの町にも押し寄せてくる学校統廃合問題の対処を勉強する目的で、その実績のある金沢市を訪問しました。

事例として4校の統廃合についてレクチャーを受けました。当市ではそれぞれで懇話会を立ち上げ、長期間にわたって住民や保護者の意見を聞きながら進めてこられ、罵声を浴びることはあっても大きな混乱はなく実現できたようです。

金沢市のような大都市とは違い、私たちの町は地形的にも細長く、しかも集落が点在していることなどを考える

と学校統廃合に取組むには、先ず懇話会を立ち上げて住民主体で時間をかけて取組むことが必要ではないかと感じました。



□三方五湖スマートインター特別委員会 視察研修

【期 日】平成27年11月25日

【視察箇所】北陸自動車道 高岡砺波スマートインターチェンジ、東海北陸自動車道 南砺スマートインターチェンジ、国道8号道の駅「万葉の里 高岡」

【出席委員】藤本委員長、辻岡副委員長、島津委員、武田委員、大塚委員、松本委員

【内容と報告】

委員会の構成替えに伴い、平成30年に供用開始が予定されている、(仮称)三方五湖スマートICの計画や既存道路へのアクセス等を調査研究する必要性から、視察研修を実施しました。

◇北陸自動車道 高岡砺波IC

富山県高岡市と砺波市との市境に位置し、平成27年3月1日に供用が開始されました。連結形式が高速道路直結型という点もあり、一日あたりの平均通行量は1400台と多いためです。



近くには、高速バスの停留所が整備され、地域生活の利便性の向上も図られています。産業の活性化や防災拠点機能の向上にも期待が寄せられています。

◇東海北陸自動車道 南砺スマートIC

福光ICと小矢部砺波JCTの間に位置し、平成27年3月1日に供用が開始されました。一日あたりの平均通行量は600台。料金所付近には、無料駐車場が整備されており、一般道の混雑解消や救急医療への支援にも効果が期待されています。

◇道の駅「万葉の里 高岡」

能越自動車道高岡IC近くに位置するこの施設は、新潟県中越地震を教訓に、防災機能を備えた「道の駅」として整備され、平成18年4月から指定管理者制度で営業を開始しています。高岡市の伝統産業や地域資源の活用、地場産品の販売や観光情報の発信に力が入られており、視察当日も多く利用者が賑わっていました。

当町のスマートICの形態と違いはあるものの、参考になる点も多く、今後の活動に活かすことのできる意義ある視察研修となりました。

平成28年 3月定例会の日程【会期：3月1日～3月23日】

すべて傍聴できます。上程される議案の件数などにより予定が変更になる場合があります。

■2月26日(金) 全員協議会(9時)

「町長が上程しようとしている議案」の概要について、行政側から説明が行われます。議員との間で、簡単なやりとりを行います。

■3月1日(火) 本会議(9時)

議案が上程されます。上程された議案は、直ちに質疑・討論・採決を行うものもありますが、多くの議案は、審査を付託すべき常任委員会を決めることにします。

■3月1日(火) 予算決算常任委員会(本会議終了後)

審査を付託(予定)された、平成27年度予算の3月補正に係る議案について、質疑・討論・採決し、可決すべきものかどうか、常任委員会としての結論を出します。

■3月2日(水) 総務産業建設常任委員会(9時)

審査を付託された議案について質疑・討論・採決し、可決すべきものかどうか、常任委員会としての結論を出します。

■3月7日(月) 教育厚生常任委員会(9時)

審査を付託された議案について質疑・討論・採決し、可決すべきものかどうか、常任委員会としての結論を出します。

■3月9日(水) 本会議(9時)

一般質問(理事者に対して議員が自由に質問します)を行います。(なお、一般質問は翌日から行政チャンネルで録画が放映されます。)また、各常任委員会に審査が付託されていた議案について、本会議での質疑・討論・採決を行います。

■3月10日(木) 予算決算常任委員会(9時)

審査を付託(予定)された、平成28年度当初予算に係る一部の議案について、質疑・討論・採決し、可決すべきものかどうか、常任委員会としての結論を出します。

■3月14日(月) 予算決算常任委員会(9時)

審査を付託(予定)された、平成28年度当初予算に係る残りの議案について、質疑・討論・採決し、可決すべきものかどうか、常任委員会としての結論を出します。

■3月23日(水) 本会議(9時)

各常任委員会に審査が付託されていた議案について、本会議での質疑・討論・採決を行います。

議会の動き



10月31日 若狭地方町村議会議員交歓球技大会
嶺南4町の議員がグランドゴルフで交流を図りました。



11月2日 河内川ダム定礎式
あいにくの雨模様でしたが、盛大に挙行されました。



11月6日 美浜町若狭町総合振興協議会
両町の議員が共通課題を活発に意見交換しました。



11月13日 子ども議会
三方中学校2年生が、町の将来について質問を行い町長が答弁しました。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと存じます。我が町に於いては、各集落・地域の策定計画を礎として「次世代の定住推進」と「住民自治の推進」を基本とした「若狭町まちづくりプラン」をかかげ、活き活きと活躍出来るまちづくりを推進しております。議会にあっては、広く議会活動を理解していただくことを目的として、今回アンケート調査を行い、その結果を踏まえ町民の皆様方との語る会を開催し議会に対する理解とご支援を賜りたく準備を致しております。

本年も皆様に信頼していただける「議会だより」の発刊を目指し精進して参りますので、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

(福谷 洋)

編集後記



12月20日 環境保全型産業学習施設竣工式
三十三地域の拠点となる学習施設が竣工しました。

